

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	市議会運営事業（政策）						事業類型	一般事務
予算科目	会計	01	01	01	01	03	要求区分 政策経費	根拠法令 地方自治法 市議会会議規則
総合計画体系	コード該当なし						総合計画対象	対象外
							市民協働	行政主体
							担当課係等	議会事務局 議事係、広報調査係
事業期間	継続（年度～）							

## 現状把握の部（D0）

<b>【目的】</b> 地方自治法（第123条）の規定により、会議の次第をそのまま記録した公文書であり議事運営を公認する書面である会議録を作成する。また、本会議生中継の配信や録画映像・会議録をホームページで公開することにより、開かれた議会の一助とする。	<b>【関連事業】</b>
<b>【期待される効果】</b> 市の主要な事業や政策が議決機関として決定された会議内容を公文書として会議録を作成し保管する重要な役割を果たすことが出来た。また、議会を可視化するための方策として、本会議生中継の配信や録画映像・会議録をホームページで公開することにより、開かれた議会の一助とできる。	<b>【対象者】</b> 市民、市議会議員
<b>【全体概要】</b> 会議録作成、本会議生中継の実施、本会議録画映像の配信等を行う。	<b>【特記事項】</b>
<b>【平成25年度 事業内容】</b> 本会議及び各種委員会等の会議録の作成・保管、市内4か所での議会中継、議会HPにおける議会の映像配信・会議録の公開等を行った。	<b>【平成26年度 事業内容】</b> 本会議及び各種委員会等の会議録の作成・保管、市内4か所での議会中継、議会HPにおける議会の映像配信・会議録の公開等を行った。
<b>【平成27年度 事業内容】</b> 本会議及び各種委員会等の会議録の作成・保管、市内4か所での議会中継、議会HPにおける議会の映像配信・会議録の公開等を行う。	

## ■ 事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	2,894	2,710	2,765
歳入計（千円）		2,894	2,710	2,765
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 役務費	105	52	108
	13 委託料	2,789	2,658	2,657
歳出計（千円）（A）		2,894	2,710	2,765
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 2.02 予 -28.3
職員人工数		0.80	0.80	0.80
職員人件費（B）		6,448	6,171	6,360
総事業費（A）＋（B）		9,342	8,881	9,125

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	会議録作成	回/年	目標	4.00	4.00	4.00
	定例会、臨時会等の会議録作成		実績	5.00	7.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない 【理由】 映像配信については、多様な情報を端末で再生が可能となるよう改選する余地がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 法律上の義務を欠くこととなる。 <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 議会だけの事業である。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 【理由】 現状では、成果を低下させずにコストの削減はできない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 できるだけ多くの市民の方に情報を提供できるようにしている。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	当面は、現状の方法により事業を実施していくが、より良い方法も模索しながら事業を進めていく。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: 櫻井清 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) インターネットの配信については、平成24年から開始されているところであり、引き続き実施していくこととする。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) 記入者: <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		

計画対象年度	平成26年度
--------	--------

# 事務事業評価シート

事務事業名		市議会だより編集印刷事業（政策）						事業類型	広報・啓発		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令			
			01	01	01	05	政策経費				
総合計画体系	第5章 みんなでつくる連携と協働のまちづくり							総合計画対象	対象		
	第3節 広報・広聴活動の充実							市民協働	行政主体		
	[1] 広報・広聴							担当課係等	議会事務局		
1 広報活動の推進							広報調査係				
事業期間	継続（年度～）										

## 現状把握の部（D0）

【目的】		【関連事業】
市議会の活動を広く市民に知らせるため、議会広報の「議会だより」を編集・発行する。また、会期日程や一般質問の要旨を「議会だよりお知らせ版」として発行し、市民への周知を図る。		
【期待される効果】		【対象者】
議会広報の「議会だより」と、会期日程や一般質問の要旨を掲載した「議会だよりお知らせ版」を編集・発行し、議会への関心と理解を深め市議会の活動を広く市民に知らせることができる。		市民
【全体概要】		【特記事項】
定例会閉会后に、一般質問の内容や審査結果の広報のため、「議会だより」を発行する。また、定例会開会前に、会期日程や一般質問の要旨を「議会だよりお知らせ版」として発行する。		
【平成25年度 事業内容】	【平成26年度 事業内容】	【平成27年度 事業内容】
「議会だより」、「お知らせ版」を年4回（14,400部）発行し、各世帯に配布及び市内コンビニ、金融機関等窓口に設置した。	「議会だより」、「お知らせ版」を年4回（14,400部）発行し、各世帯に配布及び市内コンビニ、金融機関等窓口に設置した。	「議会だより」、「お知らせ版」を年4回（13,800部）発行し、各世帯に配布及び市内コンビニ、金融機関等窓口に設置する。

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	875	947	1,215
歳入計（千円）		875	947	1,215
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	875	947	1,215
歳出計（千円）（A）		875	947	1,215
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 28.29 予 -3.26
職員人工数		0.50	0.50	0.50
職員人件費（B）		4,030	3,857	3,975
総事業費（A）＋（B）		4,905	4,804	5,190

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	議会だより発行回数	回/年	目標	4.00	4.00	4.00
	5月、8月、11月、2月の4回発行		実績	4.00	4.00	0.00
	議会だよりの発行部数	部/年	目標	14,400.00	14,400.00	13,800.00
	13,800部印刷		実績	14,400.00	14,400.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない 【理由】 市民に、より分かりやすく、さらに読んでもらえる議会だよりとして編集をしているが、これからもより一層そのように取り組んでいく。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 市議会と市政に関する情報を全市民に提供することが出来なくなる。 <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は、税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 市議会と市政に関する情報を市民に提供するためのものであり、統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 【理由】 市民に、より分かりやすく、さらに読んでもらえる議会だよりとして編集をしていることから、さらに充実した議会だよりを目指すためコストの削減はできない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 議会だよりは、基本的には全戸配布をしているが、その他に市内の公共施設やコンビニにも設置しているので、誰もが見られるという観点から公平・公正です。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	分かりやすく、誰にでも見てもらえる議会だよりの編集を目指します。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 櫻井清
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 議会の活動状況等について、より広く市民の方にとってもらえるような編集を目指す。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		記入者:
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		

# 事務事業評価シート

計画対象年度	平成26年度							
事務事業名	市議会政務活動費事業（政策）						事業類型	一般事務
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 地方自治法 市議会政務活動費の交付に関する条例
			01	01	01	08	政策経費	
総合計画体系	コード該当なし						総合計画対象	対象外
							市民協働	行政主体
							担当課係等	議会事務局 広報調査係
事業期間	継続（ 年度～ ）							

## 現状把握の部（D0）

【目的】 市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対して政務活動費を交付する。	【関連事業】
【期待される効果】 政務活動費による積極的な調査研究活動を実施することにより、市政全般に対する政策提言やチェック機能向上が図られる。	【対象者】 会派及び議員
【全体概要】 かすみがうら市議会政務活動費の支給に関する条例及び規則に基づき、会派又は議員に対し、政務活動費を交付する。	【特記事項】
【平成25年度 事業内容】 会派及び議員に対し、一人当たり年間150,000円の政務活動費を交付した。	【平成26年度 事業内容】 会派及び議員に対し、一人当たり年間150,000円の政務活動費を交付した。
【平成27年度 事業内容】 会派及び議員に対し、一人当たり年間150,000円の政務活動費を交付する。	

## ■事業費

		H25年度	H26年度	H27年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,764	1,565	2,400
歳入計（千円）		1,764	1,565	2,400
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	1,764	1,565	2,400
歳出計（千円）（A）		1,764	1,565	2,400
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 53.35 予 3.22
職員人工数		0.25	0.25	0.25
職員人件費（B）		2,015	1,929	1,988
総事業費（A）＋（B）		3,779	3,494	4,388

■指標

種類	指標名	単位		H25年度	H26年度	H27年度
活動 指標	政務活動費執行率	%	目標	85.00	85.00	85.00
	政務活動費の交付額に対する執行率		実績	78.40	67.30	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input type="checkbox"/> 結びついている 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である 【理由】 議会の事務事業により対象外。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 【理由】 成果は上がっている。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 【理由】 市政全般に対する政策提言やチェック機能向上が停滞することも考えられる。 <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない 【理由】 類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない 【理由】 成果を低下させずにコスト削減はできない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 【理由】 公平・構成である。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現状のまま実施する。
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 櫻井清
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 現状のまま実施する。		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)		記入者:
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入)		